

## (田原市)

市町村の 基本情報	学校数	小学校 18 校、中学校 4 校		
	地域学校協働活動推進員等の配置状況	統括的な地域学校協働活動推進員		1 人
		地域学校協働活動推進員		16 人
	CS 及び地域学校協働本部設置状況	CS を導入している学校数	小 12 校	中 4 校
		地域学校協働本部がカバーしている学校数	小 7 校	中 2 校



### (活動の実際)

<地域学校協働活動推進員を配置している学校で行っている学校支援ボランティアの活動>

- ボランティアの募集 ・登録時の説明、依頼文書作成と配付、登録、CS カレンダーの作成
- 授業補助 ・家庭科の授業におけるミシン操作補助、調理実習補助 等
- 学校行事補助 ・職場体験先の依頼と新規開拓、職業や福祉を学ぶ会の講師依頼
- 環境整備 ・PTA 役員の方と合同で草取り、樹木の剪定、伐採 等
- 中学生によるボランティア活動の補助 ・市民館まつりのお手伝い
- 中学生や地域の人たちの熟議の場の設定・運営・広報

<工夫していること>

- ・児童生徒たちが地域の方々と顔見知りになり、困った時に助け合える環境をつくっている。
- ・活動の様子をまとめたおたよりを発行したり、全家庭に配布したり回覧板で地域に発信したりしている。

### (◎成果と●課題)

- ◎地域学校協働活動推進員が配置されたことにより、スムーズに学校支援活動に取り組むことができました。
- ◎学校運営協議会では、学校側からは困っていることや助けをお願いしたいこと、地域側からは子供たちのために地域の人ができること等の意見が活発に出ており、地域住民と学校との連携強化が図られ、地域全体で子供を育てようとする意識が高まっている。
- ◎中学生によるボランティア活動については、生徒が自主的に活動に参加できる機会が増え、活動への意識が高まっている。
- ボランティア登録をしてくださる方が十分に集まらない。活動を継続するためにも、広報の充実や人材の発掘が必要である。

### (関係者の声)

- ・学校運営協議会に参加することで、学校側が地域に何を求めているかがよく分かる。今後も学校と地域のつながりを深め、地域の様々な活動を活発化させていきたい。(学校運営協議会会長)
- ・学校と地域が共に WIN-WIN の関係になることが今後、本活動を持続していく上で重要になる。(地域学校協働活動推進員)
- ・これまで学校には、「入りにくい空気」があったが、このような活動が始まり、学校に協力しやすくなった。できることがあれば、今後もボランティア活動に参加していきたい。(ボランティア)
- ・地域学校協働活動推進委員がボランティアを集めてくださり、学校における様々な活動をボランティアの方々に助けていただいている。外部の方の協力を得られることは、教育活動の質の向上と教員の負担軽減につながっていると感じる。学校からのお願いばかりになっていることが課題。(教員)